



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年2月2日

上場会社名 積水樹脂株式会社

(コード番号：4212 東証・大証第1部)

(URL <http://www.sekisuijushi.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 福井彌一郎

問合せ先責任者 総務部長 早川直樹

TEL:(06)6365-3204

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 中間連結財務諸表作成基準に準拠しつつ、投資家等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、引当金の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しています。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 連結(新規) 1社(除外) 0社 持分法(新規) 0社(除外) 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)百万円未満は切捨て表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	42,682	6.4	2,708	9.6	2,630	10.7	1,388	19.7
18年3月期第3四半期	40,132	0.8	2,470	0.2	2,377	7.1	1,160	15.2
(参考)18年3月期	60,839		5,119		5,183		2,930	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	30.20	30.01
18年3月期第3四半期	25.26	25.08
(参考)18年3月期	62.00	61.52

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のがわが国経済は、好調な企業収益に支えられた民間設備投資の増加や雇用情勢の改善等、景気の緩やかな拡大が続きましたものの、原材料価格の高騰や公共投資の縮減等、当社を取り巻く経営環境は依然予断を許さない状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは景観・環境に配慮した製品をはじめコア製品の拡売や販売網の一層の強化に努めました。また、昨年10月には、関東圏の市場性、情報量の大きさを見定めて当社事業部の一部を東京に移すとともに、建築資材向けに需要が増大しているアルミ樹脂複合板の生産能力拡大のため、当社土浦つくば工場内に生産拠点を新設するなど諸施策を実施しました。

当第3四半期の連結業績は、売上高が426億8千2百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益は27億8百万円(前年同期比9.6%増)、経常利益は26億3千万円(前年同期比10.7%増)、四半期純利益は13億8千8百万円(前年同期比19.7%増)と増収・増益の成績を収めることができました。

各事業分野別セグメントの状況は以下のとおりです。

道路・都市環境関連事業分野

夜間での視認性に優れた車線分離標「ポールコーン」やLED電光表示板「オプトマーカー」等の交通安全用品が好調に売上を伸ばしましたほか、標識板も秋季国体向け道路整備事業等により大幅な売上伸長を示しました。

防護柵は「景観ガイドライン」を背景に、周囲の景観にマッチした車両用防護柵や意匠性に優れた歩行者用防護柵が好調に推移しました。

衝撃吸収性に優れた人工芝「ドリームターフ」はプロサッカーチームの練習グラウンドや大学のサッカー・ラグビー場向けに顕著な伸びを示しましたほか、耐久性に優れた人工木材「スーパーオレンジウッド」も大手建材メーカー向けに大きく売上を伸ばしました。

一方、防音壁は新規開通高速道路の減少等により、また、サイン製品は厳しい価格競争の中、売上は低迷しました。

この結果、道路・都市環境関連事業分野の売上高は150億4千2百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は9億9百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

住建生活・産業関連事業分野

主力製品のメッシュフェンスは、優れた品質と施工性に加え、生産・出荷体制や全国販売組織のさらなる強化が功を奏し好調に推移しましたほか、めかくし塀も品揃え効果等により前年同期の売上を大幅に上回りました。

組立が簡単で使いやすい室内ものほし「らくくみ」や巻き取りやすいホースリール「アクアボックス」が好調に売上を伸ばしましたが、店舗専用什器は低調に推移しました。

アルミ樹脂複合板は、看板用部材「アートパネル」が用途拡大により売上伸長を示しましたほか、仮設用防音パネルも建設現場向けに好調に推移するなど、全体として大幅な売上増となりました。

包材関連製品は、紙管のない梱包用バンド「コアレス」やエア緩衝機材「マルチパッドマシン・フィルム」が環境配慮製品として評価され売上を伸ばしました。緑製品は農家向け需要の減退により低調に推移しました。

この結果、住建生活・産業関連事業分野の売上高は273億7千8百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は25億3百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

その他事業分野

商事部門は前年同期の売上を上回りましたが、保険手数料は前年同期並に推移しました。

この結果、その他事業分野の売上高は2億6千1百万円（前年同期比27.8%増）、営業利益は1千2百万円（前年同期比18.0%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	74,135	46,173	60.7	977.69
18年3月期第3四半期	74,327	42,513	57.2	926.80
(参考)18年3月期	81,835	44,594	54.5	968.99

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	3,974	2,753	6,421	9,066
18年3月期第3四半期	3,149	828	1,424	12,803
(参考)18年3月期	4,847	452	1,283	14,262

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べて77億円減少し、74億3千5百万円となりました。主に、売掛債権が減少したこと及び借入金の返済を行ったこと等によるものであります。また、当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前期末に比べ51億9千6百万円減少し、90億6千6百万円となりました。

当第3四半期までのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において営業活動によって得たキャッシュ・フローは、39億7千4百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益並びに減価償却費等の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において投資活動に使用したキャッシュ・フローは、27億5千3百万円となりました。これは、有形固定資産の取得を行ったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において財務活動に使用したキャッシュ・フローは、64億2千1百万円となりました。これは、借入金の返済を行ったこと等によるものであります。

添付資料

- (要約) 四半期連結貸借対照表、
- (要約) 四半期連結損益計算書、
- (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

セグメント情報

以上

【参 考】

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき予想しました結果、平成18年11月7日に発表しました業績予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位 金額 :百万円、構成比 :%)

期 別 科 目	平成18年度第3四半期 (平成18年12月31日)		平成17年度(参考) (平成18年3月31日)		比較増減	平成17年度第3四半期 (平成17年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)							
流動資産	42,443	57.3	50,584	61.8	8,141	43,577	58.6
現金及び預金	9,066		14,262		5,196	12,803	
受取手形及び売掛金	20,991		25,664		4,673	19,869	
有 価 証 券	14		-		14	100	
た な 卸 資 産	8,256		6,358		1,898	6,716	
そ の 他	4,221		4,411		190	4,191	
貸 倒 引 当 金	106		112		6	103	
固定資産	31,692	42.7	31,251	38.2	441	30,749	41.4
有形固定資産	21,485	29.0	20,094	24.5	1,391	20,002	26.9
建物及び構築物	7,378		6,836		541	6,968	
機械装置及び運搬具	5,927		5,092		835	4,746	
土 地	7,351		7,346		4	7,343	
そ の 他	827		818		9	943	
無形固定資産	232	0.3	225	0.3	6	236	0.3
投資その他の資産	9,974	13.4	10,931	13.4	956	10,510	14.2
投資有価証券	7,130		8,064		933	7,563	
そ の 他	3,140		3,154		13	3,253	
貸 倒 引 当 金	296		286		9	306	
資産合計	74,135	100.0	81,835	100.0	7,700	74,327	100.0

期 別 科 目	平成18年度第3四半期 (平成18年12月31日)		平成17年度(参考) (平成18年3月31日)		比較増減	平成17年度第3四半期 (平成17年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)							
流動負債	23,536	31.7	31,352	38.3	7,815	26,008	35.0
支払手形及び買掛金	15,287		15,780		493	12,373	
短期借入金	3,682		9,213		5,530	9,075	
未払法人税等	568		1,545		976	488	
賞与引当金	522		858		336	566	
その他	3,475		3,954		478	3,504	
固定負債	4,425	6.0	4,959	6.1	533	4,883	6.6
長期借入金	3		3		0	4	
退職給付引当金	4,139		4,248		109	4,267	
役員退職慰労引当金	214		505		290	493	
その他	68		201		133	118	
負債合計	27,962	37.7	36,311	44.4	8,348	30,892	41.6
(少数株主持分)							
少数株主持分	-	-	930	1.1	-	922	1.2
(資本の部)							
資本金	-	-	12,334	15.1	-	12,334	16.6
資本剰余金	-	-	13,120	16.0	-	13,125	17.6
利益剰余金	-	-	18,504	22.6	-	16,733	22.5
その他有価証券評価差額金	-	-	1,477	1.8	-	1,245	1.7
為替換算調整勘定	-	-	176	0.2	-	230	0.3
自己株式	-	-	665	0.8	-	694	0.9
資本合計	-	-	44,594	54.5	-	42,513	57.2
負債、少数株主持分及び資本合計	-	-	81,835	100.0	-	74,327	100.0
(純資産の部)							
株主資本	43,952	59.3	-	-	-	-	-
資本金	12,334	16.6	-	-	-	-	-
資本剰余金	13,125	17.7	-	-	-	-	-
利益剰余金	19,119	25.8	-	-	-	-	-
自己株式	627	0.8	-	-	-	-	-
評価・換算差額等	1,044	1.4	-	-	-	-	-
その他有価証券評価差額金	1,145	1.5	-	-	-	-	-
繰延ヘッジ損益	0	0.0	-	-	-	-	-
為替換算調整勘定	100	0.1	-	-	-	-	-
少数株主持分	1,176	1.6	-	-	-	-	-
純資産合計	46,173	62.3	-	-	-	-	-
負債、純資産合計	74,135	100.0	-	-	-	-	-

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位 金額 :百万円、百分比 :%)

科 目	平成18年度第3四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		平成17年度第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		比較増減	平成17年度(参考) (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	42,682	100.0	40,132	100.0	2,550	60,839	100.0
売 上 原 価	30,841	72.3	28,591	71.2	2,249	43,302	71.2
売 上 総 利 益	11,841	27.7	11,540	28.8	300	17,536	28.8
販売費及び一般管理費	9,132	21.4	9,069	22.6	62	12,416	20.4
営 業 利 益	2,708	6.3	2,470	6.2	237	5,119	8.4
営業外収益	230	0.6	233	0.6	2	452	0.7
受取利息及び配当金	155		143		11	163	
雑 益	74		89		14	288	
営業外費用	308	0.7	326	0.8	18	389	0.6
支 払 利 息	199		197		2	259	
雑 損	108		129		20	129	
経 常 利 益	2,630	6.2	2,377	6.0	253	5,183	8.5
特別利益	184	0.4	1,298	3.2	1,113	1,298	2.2
特別損失	178	0.4	1,164	2.9	985	1,205	2.0
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,636	6.2	2,511	6.3	125	5,276	8.7
法人税等	1,073	2.5	1,188	3.0	115	2,175	3.6
少数株主利益	174	0.4	162	0.4	12	169	0.3
四半期(当期)純利益	1,388	3.3	1,160	2.9	228	2,930	4.8

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	期 別 平成18年度第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)	平成17年度第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)	平成17年度(参考) (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
.営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,636	2,511	5,276
減価償却費	1,443	1,391	1,908
売上債権の増加額()又は減少額	5,111	5,332	423
たな卸資産の増加額()又は減少額	1,746	73	258
仕入債務の増加額又は減少額()	194	2,784	188
その他	1,489	923	102
小計	5,761	5,452	7,105
法人税等の支払額 他	1,786	2,303	2,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,974	3,149	4,847
.投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出、売却による収入	3,065	202	37
投資有価証券の取得による支出、売却による収入	120	316	316
その他	191	308	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,753	828	452
.財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	749	640	525
長期借入金の返済による支出	5,000	-	-
配当金の支払額	691	597	596
その他	19	186	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,421	1,424	1,283
.現金及び現金同等物に係る換算差額	3	22	17
.現金及び現金同等物の増加額又は減少額()	5,196	2,575	4,034
.現金及び現金同等物期首残高	14,262	10,357	10,357
.連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	4	4
.連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	132	132
.現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	9,066	12,803	14,262

4. セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	15,042	27,378	261	42,682	-	42,682
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	125	15	140	(140)	-
計	15,042	27,503	276	42,823	(140)	42,682
営業費用	14,133	25,000	264	39,398	575	39,973
営業利益	909	2,503	12	3,425	(716)	2,708

前年同四半期（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	14,809	25,118	204	40,132	-	40,132
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	130	15	146	(146)	-
計	14,809	25,248	220	40,278	(146)	40,132
営業費用	14,175	22,726	205	37,106	554	37,661
営業利益	634	2,522	14	3,171	(701)	2,470

前連結会計年度（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

（単位：百万円）

	道路・都市環境 関連事業	住建生活・産業 関連事業	そ の 他 事 業	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	25,773	34,730	335	60,839	-	60,839
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	157	18	175	(175)	-
計	25,773	34,888	353	61,014	(175)	60,839
営業費用	23,249	31,375	323	54,948	771	55,719
営業利益	2,523	3,512	29	6,066	(946)	5,119